



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第二六四号）

たいせつ
大雪

十二月七日

二見浦の満月

地球の周りを唯一回る衛星、月。約二十七、三日で地球を一周します。月は太陽の光によって夜輝いて見え、また太陽と地球の位置関係により、球形であるのに新月、上弦、満月、下弦と、満ち欠けを繰り返すのです。月と太陽が地球に対して一直線になる時が新月と満月の頃にあたります。また、この頃は月と太陽の引力が合わさることにより、海にも影響を及ぼします。干潮満潮の差が大きくなる大潮です。

この海と月に伊勢二見浦で魅せられたのが、知り合いの七宝作家・上沼緋佐子さんでした。先日五十鈴塾で実行委員会により遺作展を開催、久しぶりに上沼さんの作品が伊勢に並びました。山形で生まれ育った上沼さんが平成二年、縁あって伊勢へ移り住んだ十数年間。私もその頃に出会いました。

「満月を見ようと思って、大潮の夜に二見へ行ったら、月が出ないのよ。おかしいと思ったら、新月だったわ」と面白そうに話されていました。その体験から製作したのが、海と月のものがたり「朔」と「望」の連作でした。

「朔」は新月のため海のみ、「望」は満月と海が図柄となっています。海辺に暮らす者にとっては、大潮と月の関係は周知のことでしょうが、山形の月山を見て育った上沼さんにとっては新鮮に映ったのでしよう。

おもひきやふた見のうらの月をみて

明暮袖に浪かけんとは 『西行法師家集』六〇四番

（思ったことだろうか、二見浦の月を眺めては着物の袖に浪をかけるのに明け暮れることを）

平安時代末期にやはり伊勢に草庵を結んだ西行法師もまた二見の月と海に惹かれていたのです。

二見浦の夫婦岩の間から月が昇るのは十月から二月。今度の満月は来年一月二日です。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

しめ縄作りや餅つきなど、昔ながらの風習に触れる、お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

と き／12月16日(土)～28日(木) 10:00～17:00
※催しによっては、開催日時が多少異なります。

ところ／おかげ横丁一帯

● お正月の支度市

新春には欠かせないしめ縄やカレンダー、ポチ袋など、お正月の暮らしを彩り、味わいを深める品々を取り揃えます。

と き／12月9日(土)～20日(水) 9:30～17:00

ところ／赤福別店舗

● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄や松竹梅の鉢植え、ミニ門松などのお飾りが並びます。

と き／12月16日(土)～28日(木) 10:00～17:00

ところ／おかげ横丁内「赤福別店舗側特設屋台」

五十鈴塾

○ 伊勢の冬を楽しむ ～伊勢をめぐる歳時記～

山眠る季節。けれど伊勢の冬は、冬至の宇治橋の朝日、大晦日、新年、七草、小正月、どんど焼、御頭神事、寒の稲荷参りとなかなか年中行事が目白押しです。

伊勢神宮へは全国から初詣の人々が押し寄せ大賑わい。

伊勢にとって冬は注目される時期でもあります。

そこで伊勢神宮のお正月をはじめ、初詣や初日を拝む習慣、伊勢地方ならではの御頭神事、また雑煮だけでなく神仏への供物としての餅、新年行事の食などを通して、年を越し新年を迎えることについて考えてみましょう。

と き／12月18日(月) 13:30～15:00

講 師／千種 清美(文筆家・皇學館大学非常勤講師)

参加料／一般1,300円 会員800円

場 所／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

ゆず
柚子

柚子の果皮を摺りおろし、村雨に仕立てました。大器晩成、ようやく実をつけた柚子の香りを、彩りも爽やかに楽しみください。

ほがき
干し柿

伊勢路の家々の軒下に揺れる、大小とりどりの吊るし柿を想いつつ、柿餡を餅生地で包み、冬ならではの風物詩を模りました。

ふゆ
冬なごみ

粒餡を包んだ二色のきんとんに羊羹の赤い実をのせました。吹く風は冷たくとも、しばし心を和ませるような、冬物語の情景です。